

議員提出議案第 1 1 号

教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書

上記の議案を別紙のとおり，守谷市議会会議規則第 1 4 条第 2 項の規定により提出します。

令和 2 年 1 2 月 2 5 日 提 出

守谷市議会  
議長 高 橋 典 久 様

提出者 総務教育常任委員会  
委員長 長 谷 川 信 市

令和 年 月 日原案 決

## 教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書

学校現場では、新学習指導要領への対応だけでなく、貧困・いじめ・不登校など解決すべき課題が山積しており、子ども達の豊かな学びを実現するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。豊かな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配措置ではなく抜本的な定数改善計画に基づく教職員定数改善が不可欠です。

義務教育費国庫負担制度については、小泉政権下の「三位一体改革」の中で国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。厳しい財政状況の中、独自財源による定数措置が行われていますが、地方自治体の財政を圧迫しています。国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。豊かな子どもの学びを保証するための条件整備は不可欠です。

よって、国会及び政府におかれては、地方教育行政の実績を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるようにするために、以下の措置を講じられるよう強く要請します。

1. 計画的な教職員定数改善により少人数学級を推進すること
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため義務教育費国庫負担制度を堅持すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和2年12月25日

茨城県守谷市議会

(提出先) 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 文部科学大臣  
衆議院議長 参議院議長

## 提案理由（議員提出議案第11号）

提案の理由を申し上げます。

子どもたちの豊かな学びの実現のためには、教育を取り巻く環境の一層の整備が重要となっており、そのための条件整備は不可欠であります。

については、地方自治法第99条の規定により、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書を関係行政庁に対し提出するものです。

よろしく御審議の上、御決議のほどお願いいたします。